

科目名	音楽基礎B1							年度	2025
英語科目名	Basic Theory of Music B1							学期	前期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 1年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	野村大輔	教員の実務経験		有	実務経験の職種		ミュージシャン		
【科目の目的】 基本的な機材の使い方を理解し、現代ミュージシャンとして必要な基礎スキルである「MIDI」と「ミキシング」を学ぶ。									
【科目の概要】 現代ミュージシャンとしての基礎スキル「MIDI」「ミキシング」を学びます。									
【到達目標】 A. ミキサーとスピーカーを順番を適切に電源を入れて、シールドで接続したデバイスから音を出すことができる。 B. マイクケーブルに関する知見を取得する。 C. 真空管ギターアンプに関する知見を取得する。									
【授業の注意点】 専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル3 優れている			レベル2 ふつう				レベル1 要努力	
到達目標 A	ミキサーとスピーカーを順番を適切に電源を入れて、シールドで接続したデバイスから音を出すことができる			ミキサーとスピーカーを順番に適切に、電源を入れることができる				到達目標Aについてさらなる努力が必要	
到達目標 B	マイクケーブルに関する知見を深く取得する			マイクケーブルに関する				到達目標Bについてさらなる努力が必要	
到達目標 C	真空管ギターアンプに関する知見を深く取得する			真空管ギターアンプに関する知見を取得する				到達目標Cについてさらなる努力が必要	
【教科書】 (株)ヤマハミュージックメディア「ミュージッククリエイターハンドブック」									
【参考資料】 特になし									
【成績の評価方法・評価基準】 評価基準はルーブリック評価に基づき、試験60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

